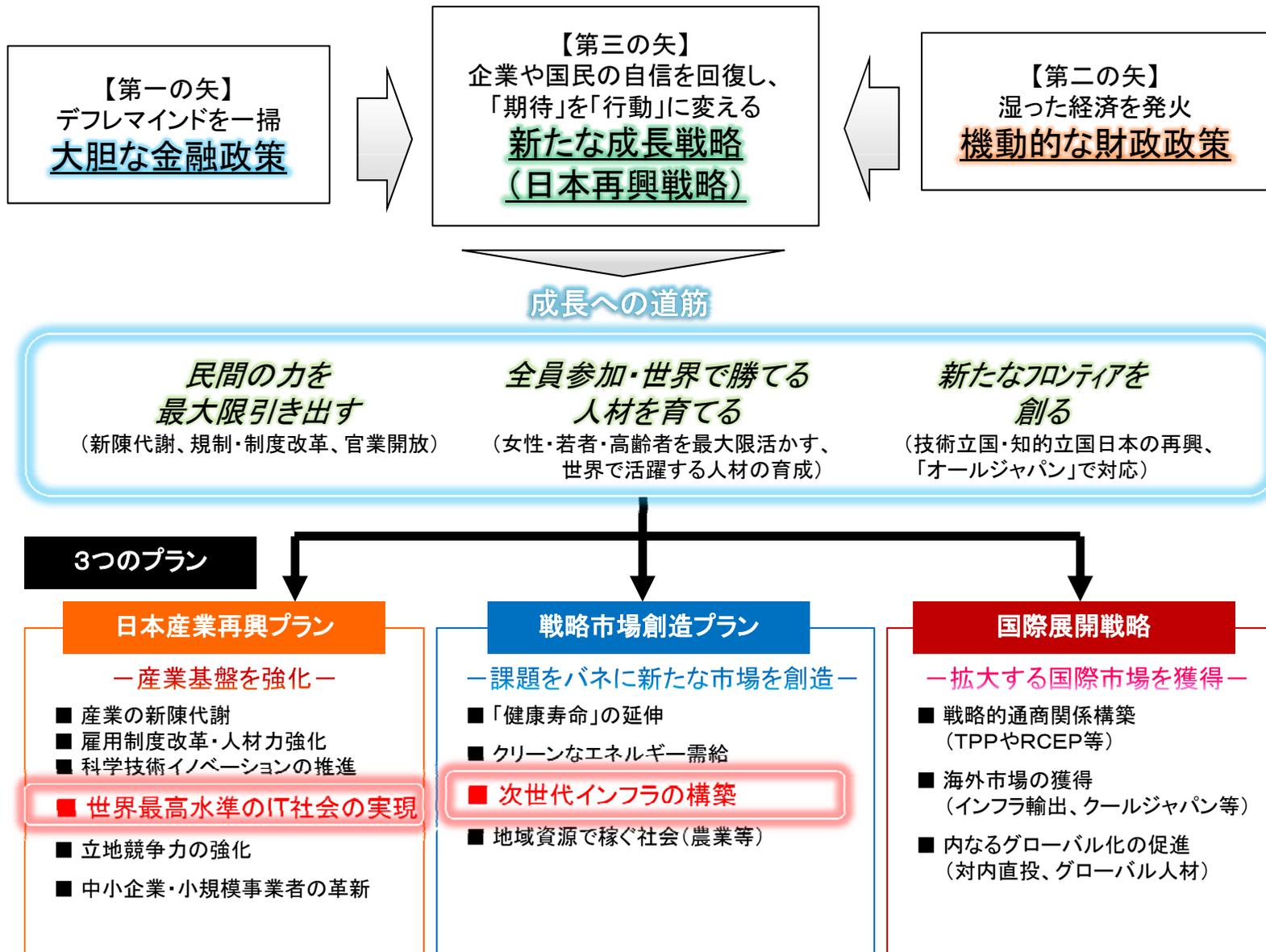


政府のIT戦略と重点検討項目



世界最高水準のIT社会の実現

- 世界最高水準のオープンデータやビッグデータ利活用の推進
- 公共データの民間開放
- IT活用による分野複合的な課題解決

安全・便利で経済的な次世代インフラの構築

- 安全で強靱なインフラが低コストで実現されている社会
- インフラ長寿命化計画の策定
- センサー、ロボット等を活用したインフラ点検・診断システムの構築

下水道施設の老朽化対策に関する検討委員会

○設置主体

国土交通省、公益社団法人日本下水道協会

○背景

下水道施設は、全国的に高度経済成長期以降急激に整備されたため、今後は老朽化が急速に進むことが見込まれており、計画的かつ効率的に老朽化対策を進めていく必要がある。

○目的

上記背景を踏まえて、下水道関係者が計画的かつ効率的な老朽化対策を行うために当面講ずべき施策等について検討を行う。

第1次提言 H25.6.27

1. 敷設後50年以上経過した下水道管路施設に対する緊急的な総点検の実施
2. リスクの高い下水道管路施設に対する重点的な点検・調査の実施
3. 効率的な巡視、点検、調査の実施

4. 点検・調査データ等のデータベース化とその活用

5. 予算・人員の確保と国による重点的な財政支援

委員名簿

職名	所属	氏名
委員長	東京都市大学工学部都市工学科教授	長岡 裕
委員	高崎市下水道局維持管理課長	猿渡 猛
〃	船橋市下水道部下水道河川計画課長	高橋 孝雄
〃	東京都下水道局計画調整部開発計画推進担当課長	家壽田 昌司
〃	横浜市環境創造局下水道計画調整部 下水道事業調整課長	奥野 修平
〃	名古屋市上下水道局技術本部下水道計画課長	愛知 雅夫
〃	大阪市建設局下水道河川部調整課長	寺川 孝
〃	日本下水道事業団西日本設計センター調査役	神宮 誠
〃	(公益社団法人)日本下水道管路管理業協会 技術委員会委員長代理	伊藤 岩雄
〃	(一般社団法人)日本下水道施設業協会技術部長	松尾 英介
〃	(一般社団法人)全国上下水道コンサルタント協会 下水道委員長	牛原 正詞
〃	(一般社団法人)日本下水道施設管理業協会 企画総務委員会委員	上釜 義孝

○点検・調査結果及び維持管理履歴等の情報のデータベース化と、その活用が今後重要である。

- ・下水道施設に関する情報を体系的に整理
- ・継続的なデータを蓄積するため、データベース化を推進
- ・蓄積したデータを活用して、施設の状態を分析・評価
- ・点検・調査計画の見直し
- ・改築修繕計画の策定

ICTカテゴリー分類における重点検討分野

日本再興戦略や下水道施設の老朽化対策に関する検討委員会（第1次提言）を踏まえ、下水道におけるICTの重点検討分野を、「下水道ナショナルデータベースの構築」、「ICTによる広域監視・管理」、「センサー・ロボット等ICTを用いた点検」とする。

